



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス

コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鹿島 亨

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長

(氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,282	△3.3	334	5.8	376	3.7	189	△22.7
24年3月期第1四半期	7,528	△4.1	316	45.7	363	36.0	245	506.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 190百万円 (△31.1%) 24年3月期第1四半期 276百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.43	—
24年3月期第1四半期	17.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,029	15,349	56.7
24年3月期	27,478	15,678	57.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,315百万円 24年3月期 15,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	40.00	40.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,370	3.0	920	13.1	970	9.4	600	△1.2	45.67
通期	34,900	4.4	2,600	4.4	2,700	1.7	1,660	34.6	126.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	15,240,000 株	24年3月期	15,240,000 株
25年3月期1Q	2,101,651 株	24年3月期	2,101,630 株
25年3月期1Q	13,138,359 株	24年3月期1Q	13,839,770 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
5. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、個人消費は緩やかに増加し、生産・輸出・企業収益は持ち直しの動きが見られるようになりました。

情報サービス業界におきましては、顧客企業のIT投資の執行には回復の兆しが見られる一方、受注単価の下落に歯止めがかからない状況は継続しており、依然として厳しい受注環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画の2年目として、『**既存事業の構造改革推進による収益力の向上・強化**』と中長期成長戦略である『**自社IP製品ビジネスの推進と海外新規事業への取り組みによる成長性の確保**』を引き続き推進しております。

■既存事業の構造改革推進による収益力の向上・強化

1. 営業強化による受注・売上拡大

案件発掘から受注までの案件管理の強化等に注力した結果、中核事業会社である株式会社S R Aの受注は、開発事業を中心に3四半期連続で前年同期実績を上回りました。

2. 収益性の高い生産体制の構築

配員管理の強化による生産間接費の適正化等に努めた結果、株式会社S R Aの粗利益率は、開発事業、運用・構築事業において前年同期に比べ向上しました。

3. 事業規模に見合うコスト構造への変革

生産原価・販管費の適正化に継続して取り組みました。

■自社IP製品ビジネスの推進と海外新規事業への取り組みによる成長性の確保

(「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」)

ワイアレスデータコミュニケーション、クラウド等の成長分野における自社IP製品ビジネス(※1)を米国で発掘し、中国・ASEAN等の成長市場で展開する「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」に取り組んでおります。

(※1) 自社IP製品ビジネス

知的財産権を有する、収益性の極めて高い自社ブランドの製品ビジネス

また、中国ビジネスの取り組みの一環として、株式会社S R Aは、株式会社S J Iとの業務・資本提携関係強化を目的に、中王科技服務(香港)有限公司(King Tech Service HK Limited)が保有する株式会社S J I株式を50,000株追加取得しました。これにより、S R Aグループが保有するS J I株式は50,500株(保有割合6.1%)から100,500株(保有割合12.1%)となりました。

株式会社S R Aは、株式会社S J Iに対して、同社が中国における日本企業向けオフショア開発事業の拡大のために進めている中訊軟件集团股份有限公司(SinoCom Software Group Ltd.)の株式取得に必要な資金の一部(25億円)を貸付けております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高につきましては、開発事業は増加したものの、運用・構築事業はほぼ横ばいとなり、販売事業が減少した結果、7,282百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

損益面につきましては、売上高の減少により売上総利益が減少しましたが、利益率の向上と販管費の効率化に努め、営業利益は334百万円(前年同期比5.8%増)、経常利益は376百万円(前年同期比3.7%増)となりました。また、四半期純利益は、投資有価証券売却益等を特別利益に計上する一方、改正税法に基づき、法人税等調整額等が減少した結果、189百万円(前年同期比22.7%減)となりました。

上記のとおり当第1四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期に比べ、売上高は微減となりましたが、営業利益、経常利益は増加しました。また計画に対しても営業利益、経常利益は想定どおり進捗しております。

当第1四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、銀行向け、製造業向けが減少しましたが、大学向けと不動産業向けが増加した結果、当事業の売上高は3,723万円(前年同期比5.5%増)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、大学関連は増加したものの、企業向けが減少した結果、当事業の売上高は811万円(前年同期比1.8%減)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tが主に流通・金融分野で減少し、さらに株式会社S R Aでパッケージ販売が減少した結果、当事業の売上高は2,746万円(前年同期比13.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、仕掛品が369百万円増加したものの、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が1,867百万円減少した結果、流動資産は781百万円減少し、18,496百万円となりました。また、固定資産は、減価償却により無形固定資産が58百万円減少いたしましたが、投資有価証券が352百万円増加したこと等により、333百万円増加し、8,533百万円となりました。この結果、資産合計は448百万円減少し、27,029百万円となりました。

一方、負債合計は賞与引当金が343百万円増加いたしましたが、仕入債務の支払により買掛金が306百万円、法人税等の支払により未払法人税等が303百万円それぞれ減少したこと等により、119百万円減少し、11,680百万円となりました。純資産合計は配当金の支払等により、335百万円減少し、15,349百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日に開示しております「平成24年3月期決算短信」の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,697	7,213
受取手形及び売掛金	6,444	4,576
有価証券	1,529	801
商品及び製品	349	464
仕掛品	982	1,351
繰延税金資産	498	649
その他	804	3,473
貸倒引当金	△28	△35
流動資産合計	19,277	18,496
固定資産		
有形固定資産		
建物	331	331
減価償却累計額	△215	△221
建物(純額)	115	110
機械装置及び運搬具	568	564
減価償却累計額	△517	△518
機械装置及び運搬具(純額)	50	46
土地	0	0
その他	100	102
減価償却累計額	△69	△71
その他(純額)	31	31
有形固定資産合計	197	188
無形固定資産		
その他	1,104	1,046
無形固定資産合計	1,104	1,046
投資その他の資産		
投資有価証券	4,082	4,434
繰延税金資産	1,289	1,272
差入保証金	413	407
その他	1,205	1,282
貸倒引当金	△14	△14
投資損失引当金	△78	△84
投資その他の資産合計	6,897	7,297
固定資産合計	8,200	8,533
資産合計	27,478	27,029

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,804	2,498
短期借入金	1,609	1,669
未払費用	661	742
未払法人税等	568	264
未払消費税等	290	136
賞与引当金	616	960
役員賞与引当金	58	0
工事損失引当金	167	196
関係会社整理損失引当金	41	41
その他	865	1,038
流動負債合計	7,682	7,547
固定負債		
長期借入金	300	300
繰延税金負債	1	3
退職給付引当金	3,659	3,681
役員退職慰労引当金	154	146
その他	1	1
固定負債合計	4,116	4,132
負債合計	11,799	11,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	11,642	11,306
自己株式	△1,393	△1,393
株主資本合計	15,732	15,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290	257
為替換算調整勘定	△373	△338
その他の包括利益累計額合計	△83	△81
新株予約権	29	34
純資産合計	15,678	15,349
負債純資産合計	27,478	27,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,528	7,282
売上原価	6,285	6,071
売上総利益	1,242	1,211
販売費及び一般管理費	925	876
営業利益	316	334
営業外収益		
受取利息	28	41
受取配当金	23	19
その他	12	19
営業外収益合計	64	81
営業外費用		
支払利息	7	7
為替差損	4	20
その他	4	11
営業外費用合計	17	39
経常利益	363	376
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
新株予約権戻入益	29	—
特別利益合計	29	11
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	1	0
その他	9	—
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	379	388
法人税、住民税及び事業税	374	346
法人税等調整額	△240	△147
法人税等合計	134	198
少数株主損益調整前四半期純利益	245	189
四半期純利益	245	189

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	245	189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△33
為替換算調整勘定	9	34
その他の包括利益合計	31	1
四半期包括利益	276	190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276	190
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	3,529	826	3,172	7,528	—	7,528
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	58	100	166	△166	—
計	3,537	884	3,272	7,694	△166	7,528
セグメント利益	358	125	178	663	△346	316

(注) 1. セグメント利益の調整額△346百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	3,723	811	2,746	7,282	—	7,282
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	80	135	222	△222	—
計	3,729	892	2,882	7,504	△222	7,282
セグメント利益	338	142	160	641	△306	334

(注) 1. セグメント利益の調整額△306百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第1四半期連結累計期間の各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	4,176	104.8
運用・構築事業(百万円)	840	100.9
合計(百万円)	5,017	104.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

②仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
販売事業(百万円)	1,851	66.2
合計(百万円)	1,851	66.2

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

③受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	4,268	103.2	4,409	106.9
運用・構築事業	654	115.4	1,244	106.6
販売事業	2,678	69.7	3,481	94.9
合計	7,601	89.0	9,134	101.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

④販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	3,723	105.5
運用・構築事業(百万円)	811	98.2
販売事業(百万円)	2,746	86.6
合計(百万円)	7,282	96.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上